

認知症の人の本当の探し物

[あとで読む](#)

【尊厳ある介護⑤】探しモノを見つけて疑われたが・・・

公開日：2017/08/07 (ソサエティ)

里村 佳子 (社会福祉法人呉ハレルヤ会呉
ベタニアホーム統括施設長)

宮本明子さん(79歳、仮名)は、ヘルパーに家事援助を頼んで、お一人暮らしを継続されていました。



利用者が作った壁画 (里村氏提供)

ある時をさかいに、宮本さんからケアマネジャーにヘルパーが野菜をこっそり持って帰ると苦情があったので、ヘルパーの利用は中止となりました。そのため、お一人での生活が困難になった宮本さんは、ケアマネジャーの紹介で施設に入所されることとなりました。

入所してしばらくして、宮本さんは通帳を失くされ、銀行で再発行の手続きをされました。続いて、居室のカギが見当たらない、財布を失くしたなど事務所に来られて言われるため、その都度、スタッフが居室に訪問して一緒に探し物をしていました。

探し物は、見つかることもあれば、見つからないこともあります。

ある日、印鑑がないと言われたため、私が居室に訪問し一緒に印鑑を探しました。結構な時間を費やして探しても印鑑は見つかりません。こんなに探しても見当たらないとしたら、意外なところにあるのかもと考え、宮本さんの許可を得てトイレを見せていただくことにしました。

トイレは綺麗に清掃されていました。掃除用のバケツが置いてあり、雑巾がバケツの淵にかけてありました。何気なく覗くと、雑巾の下からビニール袋に入った印

鑑が見えました。これで宮本さんが安心してくれると嬉しくなった私は、「こんなところにありましたよ」と興奮して宮本さん呼びました。宮本さんもトイレから印鑑が出てきたのには驚いた様子でしたが、「ありがとう。良かった」と喜ばれていました。

印鑑は大切な物なので、なるべく人目につかないところに宮本さんが隠していて、それを忘れてしまったのだろうと、私はたいして気にとめていませんでした。

数日後、他のスタッフから「宮本さんが、里村さんは自分をこの施設から追い出そうとして嫌がらせをする。この間も印鑑がないと思ったら、あの人が居室に来て、トイレのバケツの中から印鑑を見つけた。あんな所から印鑑を探し出せるのは、隠した本人だからだと言われていましたよ」と、報告を受けたのです。

印鑑を見つけて、宮本さんに喜んでもらえたと能天気嬉しがっていた私は、その言葉に打ちひしがれました。が、よく考えると宮本さんは、自分自身が印鑑を隠した事を忘れていたのだとすれば、トイレのバケツのような思いがけない所から印鑑を見つけ出すのは、隠した本人だと私を疑うのも無理ないことなのかもしれないと、思い始めたのです。

そして、何度も物を失くす宮本さんにとってスタッフが失くした物を見つけると、置き場所を忘れてしまう自分に原因があると認めることになるのだと私は、気付いたのです。

その後も宮本さんは、次々といろいろな物がないと言われ一緒に探し物をするのですが、私は探し物を見つけても、「こちらを探してください。私は、あちらを探します」等と言葉をかけ、本人が見つけられるよう工夫をしました。そうすれば、宮本さんがスタッフに迷惑をかけたなどと気を遣わなくて良いと考えたからです。

宮本さんは、アルツハイマー型認知症と診断され、物がなくなったという症状から物が盗られたという症状へと訴えは変わりました。その頃からますます体調は悪くなり、ついには入院となりました。

入院後、宮本さんは、事情があって施設にあまり来られない娘さんにかなりの金額を援助していたとの噂を耳にしました。

いつも探し物をしていた宮本さん。本当に見つけたかったのは、娘さんとの触れ合いだったのかもしれない。

[続報リクエスト](#)

[マイリストに追加](#)

以下の記事がお勧めです

> [里村 佳子氏のバックナンバー](#)

> [北朝鮮へ原油輸出増やしたロシア](#)

> [ICBM発射でも、文政権の北朝鮮との対話路線変わらず](#)

> [認知症患者 傷つければ、病は進む](#)

> [うちでは、若い社員が上に来るのはごく普通](#)

[プロフィール](#)

[最近の投稿](#)



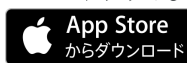
里村 佳子(社会福祉法人呉ハレルヤ会呉ベタニアホーム統括施設長)

法政大学大学院イノベーションマネジメント(MBA)卒業、広島国際大学臨床教授、前法政大学大学院客員教授、広島県認知症介護指導者、広島県精神医療審査会委員、呉市介護認定審査会委員。ケアハウス、デイサービス、サービス付高齢者住宅、小規模多機能ホーム、グループホーム、居宅介護事業所などの複数施設の担当理事。今年10月に東京都杉並区の荻窪で訪問看護ステーション「ユアネーム」を開設予定。

News Socraは、記者30年、新聞協会賞受賞の元日経新聞の土屋直也が編集長をしています。ネットで本当のジャーナリズムを盛り上げたいと思い、ベテランライターによる独自記事とセレクト記事を掲載しています。

[トップへ](#)

アプリでもご覧になれます



[この記事編集](#)

[ソクラとは](#)

[FAQ](#)

[編集長プロフィール](#)

[利用規約](#)

[利用案内](#)

[プライバシーポリシー](#)

[著作権について](#)

[特定商取引法に基づく表示](#)

[メーカーソクラ](#)

[お問い合わせ](#)

[お知らせ一覧](#)

[コラムニストプロフィール](#)

Copyright © News Socra, Ltd. All rights reserved

